

原点に立ち返ること

仲嶺 真弓

2018年度が始まり、早くも1か月が経ちました。新しいクラスでのスタートはどうでしょうか？ どの子にとっても、どの大人（保護者・職員）にとっても、そして地域の人にとってもつばさ共同保育園が安心して過ごせる場となりますようにという願いを込めて、職員一同、奮闘している毎日です。

4月のスタートは、新しい環境の中で職員もそれぞれに四苦八苦…。アトムからの異動で緊張を隠しながらの者、はじめましての保護者との関わりに尽力する者、職員パートナーとのコンビネーションが微妙にかみ合わず、日々自己紹介しあう者などなど、職員によって様々でした…。けれど、そんな時にこそ原点に立ち返ることを大事にしています。その原点は、つばさ共同保育園しおりの2ページ“大切にしていること”です。どんなことがあっても、あのページが原点に立ち返らせてくれます。だから年度はじめの職員会議では、初心にかえるためにもしおりの2ページ読み合わせを会議事項の1つにしています。不器用な職員一同ではありますが、原点の思いを胸に自己紹介を重ねていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

ぜひ、保護者の方も、しおりの2ページを読み返してみてください。日々の何気ない会話、懇談会、園行事、保護者会行事、育む会行事、地域行事のお手伝い、すべてがその原点に繋がっています。



「ひと」として育つために保育で大切にしている三つの柱

- ① 自己表現の力を養います。(子どもの体験で大事にしたいこと)
 - ② 1人1人の個性を大切にします。(職員、保護者が心がけること)
 - ③ 人間関係作りを重視します。(子ども、保護者、職員ともに体験すること)
- 保育士と子ども 保護者と保護者 保育士と保育士 保護者と保育士



【 出会いと別れ…そして人はまた出会う 】

給食室調理師、阪上忍美が、4月末日で退職しました。また、いつか共に働けることを夢見てのお別れでした。

後任は、以前働いていた村井康平が務めます。(村井の自己紹介は給食室のページをご覧ください)

突然ですが、4月末日で退職させていただくことになりました。2年間ありがとうございました。

一昨年初めて給食パートでつばさ共同保育園にご縁があり応募させて頂いたのが昨日のように思い出されます。最初はクラス名や器具の場所を覚える事から大変でしたが徐々に慣れて、皆さんと楽しくお仕事させて頂きました。子どもたちともお話をさせていただけるようになりました。

今年度は、昨年度のパート職員から正職員として働かせていただき、最初は日々の調理と新しく覚える事務作業の多さに追われる毎日でした。給食室として食からの子どもたちの命を預かっていることの責任の大きさを痛感し、調理の忙しい中でも常に緊張感を持って調理内でも確認を何度もやり、仕上げしてから再度調理室内で確認し、担任と引き渡しで又確認して、日々毎朝気を引き締めて業務に入っていました。

アトムなかよし給食を始めたことで、なるべくアレルギー食を少なくし、子ども達が同じテーブルでお友達とワイワイ話しながら喜んで食べる姿が見られるようになり、子ども達から「めっちゃおいし〜」「今日のおやつ何〜？」と笑顔で話しかけてもらえ話あえる事が1番とても嬉しかったです。

昨年からは自分の体調が悪くなり、1度持ち直したかと思っておりましたが再度悪化し、理事長や園長から優しいお言葉をかけていただき、仕事に復帰すると、職場のみなさんからもたくさんの温かい励ましの言葉をかけていただき、本当に胸がいっぱいになりましたが、万全でない体調を元に戻す為に退職させて頂くことを決めました。

まだ体調は万全ではありませんが、大きく崩さないように注意しながら最後までみなさんのお心遣いに応えられるように、子どもたちの為に安全でおいしい給食を感謝の気持ちを込めて精一杯頑張って作っていきこうと思ひ尽力しました。又、見かけたときは気軽に声をかけてくださいね。短かったですけど2年間本当にありがとうございました。

給食室 調理師 阪上 忍美

【 保育補助に入る職員の紹介です。どうぞよろしくお願いいたします 】

0〜1歳児でお世話になっております成子亜利です。

ありちゃんと呼んで下さい。

毎日、子ども達の笑顔にいやされ、またその笑顔が

私の力にもなっています。どうぞよろしくお願ひ致します。